

応用化学科 カリキュラムマップ

授業科目の名称		卒業のための 必修・ 選択	学習・教育到達目標に対する関与の程度 ◎印は主体的に含んでいる科目 ○印は付随的に含んでいる科目						
			A	B	C	D	E	F	
一般科目	英語	Reading in English 1	必修		◎				
		Reading in English 2	必修		◎				
		Oral Communication in English 1	必修		◎				
		Oral Communication in English 2	必修		◎				
		Advanced Reading in English 1	必修		◎				
		Advanced Reading in English 2	必修		◎				
	人間科学	言語表現法	選択		○				
		キャリア基礎	必修	◎					
		キャリア開発Ⅰ	選択	○					
		キャリア開発Ⅱ	選択	○					
		職業教育	選択	○					
		哲学	選択	○					
		論理学	選択	○					
		倫理学	選択	○					
		応用倫理学	選択	◎					
		心理学	選択	○					
		法学	選択	○					
		経済学	選択	○					
		社会学	選択	○					
		国際事情	選択	○					
		環境論	選択	○					
		生命と環境	選択	○					
		健康科学	選択	○					
		体育実習	選択	○					
		生涯スポーツ教育論	選択	○					
		スポーツリーダー論	選択	○					
	ボランティア活動	選択	○						
地域社会学	選択	○							
社会統計学	選択	○							
教養の系譜	選択	○							
歴史学	選択	○							
基礎科目	基礎基礎	ドイツ語Ⅰ	選択		○				
		ドイツ語Ⅱ	選択		○				
Advanced Oral Communication in English 1		選択		○					
Advanced Oral Communication in English 2		選択		○					
基礎数学		選択			○				
基礎物理		選択			○				
基礎化学		必修			◎	○	○		
線形代数Ⅰ		必修			◎				
微分積分学及び演習		必修			◎				
物理学Ⅰ及び演習		必修			◎				
専門基礎	物理学実験	必修			○	◎			
	コンピュータ演習Ⅰ	必修		○	◎				
	コンピュータ演習Ⅱ	必修		○	◎				
	工学数学及び演習	必修			◎				
	物理学Ⅱ及び演習	必修			◎				
	化学	必修			◎	○	○		
	化学実験	必修			○	◎			
	線形代数Ⅱ	選択			○		○		
	生物学	選択			○				
	地学Ⅰ	選択			○				
地学Ⅱ	選択			○					
地学実験	選択			○	○				

応用化学科 カリキュラムマップ

授業科目の名称		卒業のための 必修・ 選択	学習・教育到達目標に対する関与の程度 ◎印は主体的に含んでいる科目 ○印は付随的に含んでいる科目					
			A	B	C	D	E	F
必修科目	無機分析化学実験	必修				◎		○
	有機化学実験	必修				◎		○
	物理化学実験	必修				◎		○
	応用物性実験	必修				◎		○
	生体物質化学実験	必修				◎		○
	卒研輪講	必修	○	○	○	○	◎	○
	卒業研究	必修	○	○	○	◎	○	○
専門科目 選択科目	物理化学Ⅰ	選択*				○	◎	
	物理化学演習	選択				◎		
	無機化学Ⅰ	選択*				○	◎	
	無機化学演習	選択				◎		
	有機化学Ⅰ	選択*				○	◎	
	有機化学演習	選択				◎		
	応用化学入門	選択					○	
	物理化学Ⅱ	選択					○	
	無機化学Ⅱ	選択					○	
	有機化学Ⅱ	選択					○	
	量子化学	選択					○	
	無機合成化学	選択					○	
	分析化学	選択					○	
	機器分析	選択					○	
	有機合成化学Ⅰ	選択					○	
	化学工学	選択				○	◎	
	化学工学演習Ⅰ	選択				◎		
	化学工学演習Ⅱ	選択				◎		
	有機工業化学	選択					○	
	物性工学Ⅰ	選択					○	
	生化学Ⅰ	選択					○	
	構造化学	選択					○	
	分子生物学基礎	選択					○	
	インターンシップ	選択	○					○
	環境工学セミナー	選択					◎	
	生物物理学	選択					○	
	結晶構造	選択					○	
	物性工学Ⅱ	選択					○	
	電子材料	選択					○	
	界面科学	選択					○	
	高分子科学Ⅰ	選択					○	
	高分子科学Ⅱ	選択					○	
	機能性有機材料	選択					○	
	無機材料化学	選択					○	
有機合成化学Ⅱ	選択					○		
エネルギー化学	選択					○		
生化学Ⅱ	選択					○		
分子生物学Ⅰ	選択					○		
分子生物学Ⅱ	選択					○		
科学英語・発表技術	選択		◎					
経営工学	選択	○						
特許法	選択	○						
応用化学特別講義A	選択					◎		
応用化学特別講義B	選択					◎		
デザイン工学	選択						◎	
リーダーシップ論	選択	○						
地域技術学	選択						◎	
地域産業論	選択						○	
感性工学	選択						○	

* 「物理化学」、「無機化学」、「有機化学」の3科目から2科目は選択必修

応用化学科の使命・目的及び学習・教育到達目標

(1) 使命・目的と技術者像

応用化学科は、理学と工学の幅広い知識と技術を基盤とし、物質と環境に視点をいただいた教育研究を通して、人々が安心して安全に生活ができる社会の持続的構築に貢献します。この学科使命・目的を達成するため、化学を基軸として物理学や生物学の関連分野及びそれらの学際領域において、自然真理の探究から応用技術の創出にわたる先導的研究を遂行するとともに、物質・材料・環境・生命の分野に関連する総合的知識と問題発見・解決力と表現力、技術者倫理を備えた国際感覚豊かな科学技術者を育成します。

(2) 学習・教育到達目標

応用化学科では上記の「応用化学科の使命・目的と技術者像」を達成するために、学習・教育到達目標Aから目標Fを定めています。それぞれの科目と「学習・教育到達目標」との対応は、P.59-62の応用化学学科のカリキュラムマップ、またはポートフォリオを参照してください。これらの目標に関連して、「無機化学・環境系」「有機化学・生物系」「物理化学・物質系」の専門3分野のカリキュラムが開講されています。また、JABEE認定プログラムである「応用化学コース」が設定されています。学習・教育到達目標AからFの詳細は、下記のようになります。

学習・教育到達目標A 広い視野での社会観と責任能力を持つ技術者の養成

世界には多様な人種、文化、習慣、価値観などがあることを理解し、自分たちの文化や価値観だけでなく、他者の立場からも物事を考えることができる能力とその素養を身につける。さらに、技術者の立場から技術が社会や自然に及ぼす効果・影響を正しく理解し、技術が社会に負うべき責任感を身につける。

1. 経済感覚、国際感覚と社会認識

経済に関する基礎的知識を学び、市場経済、環境問題あるいは経営という観点を意識しつつ、時代に即した経済感覚を養う。

外国文化・歴史について学び、広い視点から異文化を理解できる能力を培う。また社会の構造を把握し、社会と間接的あるいは直接的に向き合うことにより自己認識を深める。

2. 倫理感や責任感

科学的価値観と人間の価値観との相互関係を技術・環境・生命の観点から歴史的に捕らえ、理解し得る知識を備え、社会に対する責任について深く考察できる能力を身につける。

学習・教育到達目標B コミュニケーション能力の養成

日本語及び英語による口頭や文章での論理的表現能力を培い、プレゼンテーションや討論の方法を習得することにより、国際的に通用するコミュニケーションの基礎能力を身につける。

1. 表現力と英語力の基礎

物事を客観的に分析し、論理的に構成して、自分の考えや視点を形成する能力を養う。自分の考えや視点を、状況に応じて適切に口頭や文書で表現するための表現力を体得する。英文の速読速解、直読直解に慣れ、英語での意見交換、情報発信を行うための基礎能力を身につける。特に、科学的内容の英語表現法を学び、専門学術誌を読み、国際会議に出席して発表議論できること、さらには留学するための英語能力を培うことを重視する。(英語検定試験、TOEIC)

学習・教育到達目標C 数学、自然科学、情報技術の知識の習得

数学、物理学、化学などの自然科学を基幹基礎科目として学びながら、情報技術、コンピューター利用技術を身につけ、それらを応用化学の諸問題に適応できる能力を身につける。

1. 基幹基礎

数学、物理、化学および情報技術の基本知識を学び、基礎概念の理解を確立し、自然科学および環境に関する素養を身につける。

2. 専門基礎

理学・工学の専門知識を学ぶ上で必要となる概念や手法の基礎を学ぶ。

学習・教育到達目標D 化学の実験的技術と計画的実践力の習得

実験・実習を行う目的を明確にして、与えられた制約の下で計画的に実験を行い、まとめる能力を身につける。機器の操作技術、データ取得技術、データ処理技術、報告書作成技術を習得するとともに、問題を発見・考察する能力も培う。

1. 演習・自習

学んだことを実際に活用するための演習を通して、自ら学ぶ習慣や予習・復習を継続的にできる基盤を身につける。

2. 実験系

実験書の予習を実験前の講義をもとに、目的を理解し、操作上の安全性や注意点を含めて操作の段取りを計画し、実験を実行できる能力を身につける。さらに、データの取り方や扱い方、まとめ方、最終的な報告書の様式や作成の方法を身につける。考察や口頭発表のためのまとめ方についても学ぶ。

学習・教育到達目標E 化学の専門的知識と応用力の習得

物理化学・物質デザイン系、無機化学・環境サイエンス系、有機化学・生物システム系に関する知識と、それらを問題解決に応用できる能力を身につける。

1. 専門導入

物理化学系、無機化学系、有機化学系の専門分野の科目の基盤となる知識や概念を身につける。最新の研究分野の基盤についても学ぶ。

2. 専門

物理化学・物質デザイン系、無機化学・環境サイエンス系、有機化学・生物システム系に関する知識と、それらを問題解決に応用できる能力を身につける。

3. 化学工学

化学工学分野の概要と各論について学び、化学工学の考え方を身につける。

学習・教育到達目標F デザイン能力とチームワーク力の養成

課題発見・解決力、実践力、デザイン能力などを養い、理解して得た知識・手法を実験による確認を通して明確にし、課題解決に応用する能力を育成する。チームで仕事をするための基礎的な知識と能力を身につけ、様々な分野の人と協働する能力を身につける。特に「卒業研究」では、問題の設定・解決能力、結果・経過の判断・評価能力、研究成果の報告・発表能力、協調性や自己管理能力を身につける。

1. デザイン能力

多様な知識や情報、価値観を勘案して問題の発見と解決を行う能力を身につける。

2. チームワーク力

チームで仕事をするための基礎的な知識と能力を養い、自分の専門とは異なる分野の他者と協働することの重要性について認識する。さらに、チームで仕事をする際に、自主的に行うべきことを判断し実行する能力と、他のメンバーのとるべき行動を判断して、適切に働きかける能力を身につける。